

鯖街道

京は遠ても十八里

鯖街道の由来と歴史

鯖街道とは、小浜から京都までを結ぶ若狭街道の別名です。18世紀後半、若狭湾にて鯖がたくさん水揚げされ、京へ運ばれたことが鯖街道の由来です。鯖街道は歴史が古く、奈良・飛鳥時代にさかのぼります。鯖街道は日本の和食文化を支え、歴史的に重要な役割を果たしていました。2015年には文化省より第一号として「日本遺産」に登録されました。

熊川宿



江戸時代には宿場町として繁栄しました。風情ある街並みを楽しむことができます。

いずみ町商店街



鯖街道の起点となるいずみ町商店街は昔ながらの雰囲気が残っています。商店街の中には「鯖街道資料館」があり、鯖街道の歴史について学ぶことができます。

浜焼き鯖



通りには浜焼き鯖の香ばしいにおいが漂っています。

鯖街道資料館



History on the saba road have continued for more than 1200 years. The marine products in the Wakasa city have benefited onto Kyoto which was the Japanese major city. The road has created Japanese food culture and play an important role historically. Would you like to know more about Japanese history